

アンサンブル・シャロン

第27回演奏会

2025年5月18日(日)
13:30開場／14:00開演

千葉市文化センター 3F アートホール (JR千葉駅より徒歩10分)

¥1,000 (全席自由)

指揮：井辻紀一 ピアノ：塩澤景子

トマス・ルイス・デ・ビクトリア 作曲
「Missa Salve」

三沢 治美 編曲
「LOVE」混声合唱のためのヒットメドレー
ゴンドラの唄・東京ブギウギ・瀬戸の花嫁・愛燦燦 ほか

武満 徹 作曲
混声合唱のための「うたⅠ」「うたⅡ」より
翼／小さな部屋で／明日ハ晴レカナ、曇リカナ／◎と△の歌／
死んだ男の残したものは

E-mail: e_sharon@infoseek.jp

ホームページ: <http://esharon1988.stars.ne.jp>

※ (旧Twitter): @EnsembleSharon

Facebook: <https://www.facebook.com/EnsembleSharon>

後援: 千葉県合唱連盟

◆◆ アンサンブル・シャロン ◆◆

1988年4月、少人数のアンサンブルを目的として結成された混声合唱団。演奏会、全日本合唱コンクール、千葉県合唱祭等を中心に活動し、全日本合唱コンクールでは、2000年に関東大会で金賞を受賞、念願の全国大会出場を果たし、銅賞を受賞した。その後も関東大会では2002-2019年で8回金賞を受賞、2004年には2度目の全国大会出場を果たし、銅賞を受賞している。

また、1994年に国民文化祭（三重県）に参加、2000年に千葉市民の日記念「ファミリーコンサート」に出演、2002年には千葉県成東町で行われた「のぎくプラザ合唱祭」、2004年には千葉県東金市で行われた「つくも合唱連盟20周年合唱祭」にて招待演奏、2009年には旭市の東総文化会館で行われた「東総合唱フェスティバル」へのゲスト出演他、地域の敬老会で演奏を披露するなど地域の文化振興にも努める。

多くの方々の支えにより、2018年には創設30周年記念演奏会、2019年は第25回記念演奏会を無事終えた。

千葉市を中心に活動。年齢・職業・住んでいるところも様々で多忙なメンバーが多いが、それぞれ忙しい合間を縫って練習に集まっている。曲のジャンルは特にこだわらない。何より、指揮者の誠実で丁寧な音楽作りが特徴で、そこから生み出される言葉を大切にしたい温かい音楽が持ち味となっている。

◆◆ 井辻紀一(指揮) ◆◆

武蔵野音楽大学声楽科卒業。東京少年少女合唱隊の創立第1期生として入隊。以来、創立者である故長谷川新一氏の下で高校卒業までの8年間、グレゴリオ聖歌、中世ルネサンス合唱音楽、バロック音楽等の薫陶を受ける。声楽を菊池初美、飯山恵巳子各氏に師事。

県立千葉東高校教諭時代に、同校音楽部をNHKコンクールにおいて10回連続千葉県代表に育てる。その間、関東甲信越代表として3回、全国コンクールに出場。また、全日本合唱コンクールでは8年連続関東大会に出場。その後、赴任した県立幕張総合高校においても同校合唱団を定年退職までの9年間、連続して関東大会に出場させ、創部2年目にして全日本合唱コンクール全国大会高校A部門で銀賞を受賞。

アンサンブル・シャロンを1988年の創団当初から継続して指導しており、2000年、2004年には全日本合唱コンクール一般の部で全国大会出場を果たす。2001年2月11日には、教え子たち約100名の手による「井辻紀一先生退官記念演奏会」が開催される。同年3月に定年退職した後も、県民合唱団の指導などに精力的に活動している。2004年には、これまでの活動が認められ、鮫島有美子氏と共に千葉県文化功労賞を受賞。

千葉県合唱連盟顧問、船橋市合唱連盟顧問

アンサンブル・シャロン、夏見グリーンコール、コーロ・フィオーレ指揮者

◆◆ 塩澤景子(ピアノ) ◆◆

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。在学中、高階正光氏指揮法教室にて指揮法伴奏を、卒業後、ウィーン・メロス音楽セミナーにてピアノ・室内楽を学ぶ。日本ピアノ教育連盟奨励賞受賞。室内楽全日本プレイヤーズコンテスト入選、市川市文化会館ティータムコンサート、サロン松本（市川市）若い音楽家シリーズリサイタルに出演。ピアノを清水美左子、故園田泰子、阿部美果子の各氏に、室内楽を法倉雅紀氏に師事。桐朋学園子供のための音楽教室市川・西千葉教室講師を務める傍ら、室内楽・合唱伴奏の活動をしている。

☆ 団員募集 ☆

練習日時：毎週日曜日 13:15～16:30

練習場所：稲毛公民館 他、千葉市内公民館

団 費：3,500円/月(学割有り)

高校生以上の合唱好きの方、私達と一緒に歌いませんか？

練習見学も大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

